

2024 世界トライアスロン横浜大会の結果報告について

「2024 世界トライアスロン横浜大会」（主催：世界トライアスロンシリーズ横浜大会組織委員会）を令和6年5月11日（土）、12日（日）の両日に開催しましたので結果を報告します。

11日のエリート大会は、パリ2024オリンピック・パラリンピックの選考大会にも位置付けられ、熱戦が繰り広げられました。

12日のエイジ大会は、参加者をはじめ多くの笑顔が見られました。両日とも沿道で多くの皆様に観戦いただき、横浜の街が大いに盛り上がりました。

1 競技結果

(1) 5月11日（土）エリート（トップアスリート）大会

競技種目	出走者数	完走者数	完走率
エリート パラトライアスロン	80 (70) [男 45(43)/女 35(27)]	78 (67) [男 43(41)/女 35(26)]	97.5% (95.7%)
エリート	120 (120) [男 60(60)/女 60(60)]	102 (101) [男 47(49)/女 55(52)]	85.0% (84.2%)
参加国	37の国及び地域		

(出場選手の主な成績は5ページを参照)

() 内は2023大会

(2) 5月12日（日）エイジ（一般参加者）大会

競技種目	出走者数		完走者数		完走率
パラトライアスロン	20 (19)		19 (17)		95.0% (89.5%)
	男	女	男	女	
	17 (17)	3 (2)	16 (15)	3 (2)	
スタンダード	1,051 (1,090)		972 (964)		92.5% (88.4%)
	男	女	男	女	
	924 (948)	127 (142)	855 (843)	117 (121)	
スプリント	229 (256)		202 (216)		88.2% (84.4%)
	男	女	男	女	
	181 (198)	48 (58)	156 (165)	46 (51)	
スタンダードリレー	113[40組] (75[25組])		107[38組] (72[24組])		95.0% (96.0%)
スプリントリレー【新設】	14[5組]		11[4組]		80.0%
合計	1,427 (1,440)		1,311 (1,269)		91.9% (88.1%)

※最年少出場者は16歳、最高齢は84歳

() 内は2023大会

2 コース

山下公園をメイン会場に、赤レンガ倉庫、みなとみらい21地区など横浜の観光名所を周回するコースです。（エリート、エイジスタンダードのコースは6ページを参照）

スタンダードディスタンス (エリート、エイジスタンダード)	全体 51.5km (スイム 1.5km、バイク 40km、ラン 10km)
スプリントディスタンス (エリートパラ、エイジパラ、エイジスプリント)	全体 25.75km (スイム 0.75km、バイク 20km、ラン 5km)

3 観戦者数

約490,000人（11日（土）約264,000人、12日（日）約226,000人）※過去最大

4 ボランティア

延べ約860人

5 映像発信

(1) 5月11日（土）エリート（トップアスリート）大会

ア NHK BS 10:05～15:10 女子・男子競技を生中継

イ Triathlon LIVE 6:42～全競技終了 全競技をオンライン配信

(2) 5月12日（日）エイジ（一般参加者）大会

大会WEBサイトでオンライン配信 6:50～競技終了

6 2024年大会のトピック

(1) エイジ（一般参加者）大会のコース変更

一般参加の競技者及び観戦者が横浜の魅力を満喫できるよう、コース変更を行いました。

【コース変更概要】

- ・赤レンガ倉庫の2棟間を通るランコースを設定し、横浜ならではのコースを満喫
- ・象の鼻パーク内のコース変更により赤レンガ倉庫から象の鼻パークへの歩行者動線を確保
- ・山下公園通りのコースを県民ホール前まで延伸し、沿道応援によるにぎわいを創出



赤レンガ倉庫のランコース



延伸した山下公園通りの折り返し地点

(2) 一般参加選手へのホスピタリティの充実

【実施概要】

- ・競技前後の選手・家族・仲間たちの憩いの場として、山下公園内に「エネルギーチャージ&リカバリービレッジ」を新たに設置
- ・協賛パートナーと連携し、市民参加型スポーツイベントで日本初の「スポーツホスピタリティ」を導入。山下公園内「ザ・ワークハウス」をラウンジとして提供



エネルギーチャージ&リカバリーヴィレッジ



スポーツホスピタリティ（ザ・ワークハウス）

(3) こどもの参加・活躍の場

① キッズプログラムの実施

横浜の未来を担う子どもたちが、大会の様々な場面で選手と触れ合い、交流しました。※フィニッシュキッズのみエイジ選手対象

【キッズプログラム内容】



プログラム名	内容	参加人数
こどもスポーツ記者	エリートレースを取材・撮影、こどもたちの記事は、後日「横浜こどもスポーツ新聞」として発行される予定	10名
ハイタッチキッズ	スタート前の選手をハイタッチで送り出し	20名
エイドキッズ	フィニッシュ後の選手に、タオルやドリンクを提供	9名
エスコートキッズ	メダルセレモニーで、選手と手をつなぎ表彰台までエスコート	8名
ブーケキッズ	メダルセレモニーで、表彰選手にブーケ（花束）を贈呈	9名
キッズ応援団	フィニッシュ直前の選手への声援やハイタッチで大会を盛り上げ	29名
フィニッシュキッズ	【新規】フィニッシュテープを持ち、選手を迎え入れ	31名

② アスリートとの交流

横浜市立小中高生が、トップアスリートの選手たちと交流できる場を設けました。

【実施概要】

内容	日本パラトライアスロン代表選手との交流
開催日程	5月8日(水)
場所	北方小学校
参加者	宇田 秀生(うだ ひでき) 選手 佐藤 圭一(さとう けいいち) 選手 北方小学校6年生



内容	夕食会場での日本文化交流
開催日程	5月9日(木)
場所	ローズホテル横浜
参加校	金沢中学校、寺尾中学校、港南中学校、横浜商業高等学校



内容	エイドステーションでの交流
開催日程	5月11日(土)
参加校	本牧小学校



(4) にぎわいの創出

大会を通じたにぎわいづくりの取組として、象の鼻パークで「ハマトラ FES(フェス)」を実施しました。今年では会場を拡大し、キッズエリアを新設しました。子どもが参加できるコンテンツをさらに充実し、大きなにぎわいを創出することができました。

また、大会初日の夜に、「横浜スパークリングトワイライト」と連携し、大会参加者等に花火とともに夜の横浜を楽しんでいただきました。

【ハマトラ FES 実施概要】

開催日程	5月11日(土) 9:00~17:00 / 12日(日) 9:00~16:30
場 所	象の鼻パーク
来場者数	56,000人(11日:27,000人、12日:29,000人)
実施内容	<p>①ブース出展 トライアスロン・スポーツ用品関連ブース、キッチンカー等44団体のブース</p> <p>②ステージイベント 11日:パブリックビューイング 12日:ステージパフォーマンス、トークセッション、ブレイキンのこども向け体験会</p> <p>③キッズエリア(新設) ・ストライダーエンジョイカップ:ランニングバイク体験により大会を体感 ・スポーツ体験コンテンツ:横浜スポーツパートナーズの協力により子ども向け体験遊具を提供</p>



ストライダーエンジョイカップ



スポーツ体験コンテンツ

(5) 環境・SDGs・チャリティの取組

SDGs を踏まえた持続可能な大会運営のため、ブルーカーボンオフセットやペットボトルの水平リサイクルの試行など様々な取組を行いました。あわせて大会期間中、能登半島地震支援にかかる募金を行いました。

また、国際競技連盟「ワールドトライアスロン」のサステナビリティ認証機関より、2024 年大会の持続可能な取組に対し、最上位となる「ゴールド」の認証をいただきました。



【今大会の主な取組内容】

環境協力金によるブルーカーボンオフセット	大会やハマトラ FES への参加料金に環境協力金を上乗せし、岩手県洋野町からブルーカーボンクレジットを購入
ペットボトル水平リサイクルの試行	協賛パートナーと連携し、大会で発生したペットボトルを回収・ペットボトルへと再生。また、使用後の適切なペットボトル分別について、POP を用意して啓発
スポーツウェアリサイクル	協賛パートナーと連携し、使わなくなったスポーツウェアを回収（回収実績：100 枚・13kg）
SDGs エントリーによる寄付	参加料の一部を SDGs の取り組みを推進する団体等に寄付
間伐材を活用した感謝状	協賛パートナーへ授与する感謝状に山梨県道志村の間伐材を活用
グリーントライアスロンの開催	地球環境保全の啓発やトライアスロンの普及を目的とした市民向けイベント。4 月 13 日（土）開催
能登半島地震支援募金	募金実績：46,700 円

(6) ワールドトライアスロン理事会の開催

今大会にあわせて、国際競技連盟である「ワールドトライアスロン」の理事会が、横浜で開催されました。

【開催概要】

日時・場所：5 月 10 日（金）9:00-17:00
横浜市庁舎 31 階レセプションルーム
5 月 12 日（日）9:00-17:00
ホテルニューグランド



【参考資料】 主な成績

■パラトライアスロン

○車いすの選手が出場するクラス（PTWC）

	順位	氏名	国及び地域	タイム
PTWC 【男子】	1位	ヘールト スキパー	オランダ	0:57:38
	2位	フローリアン ブルングラバー	オーストリア	0:58:18
	3位	ルイ ノエル	フランス	1:01:51
	7位	木村 潤平	日本	1:05:02
PTWC 【女子】	1位	ローレン パーカー	オーストラリア	1:03:36
	2位	リアン テイラー	カナダ	1:05:01
	3位	ジェシカ フェレイラ	ブラジル	1:05:02

○切断やまひなど肢体不自由の立位の選手が出場するクラス（PTS）

	順位	氏名	国及び地域	タイム
PTS 2 【男子】	1位	マーク バー	アメリカ	1:06:26
	2位	ステファン バイエ	フランス	1:08:17
	3位	トーマス グッドマン	オーストラリア	1:14:47
PTS 2 【女子】	1位	ヘイリー ダンズ	アメリカ	1:13:24
	2位	アヌ フランシス	オーストラリア	1:14:44
	3位	秦 由加子	日本	1:19:05
PTS 3 【男子】	1位	ミカエル エルテ	フランス	1:12:43
	2位	ジャスティン ゴッドフリー	オーストラリア	1:13:26
	3位	ファンテ キム	韓国	1:13:39
PTS 3 【女子】	1位	アンナ プロトニコワ	中立の個人資格の選手	1:17:02
	2位	レイチェル ワッツ	アメリカ	1:32:51
PTS 4 【男子】	1位	アレクシ アンカンカン	フランス	0:57:25
	2位	ピエール アントワヌ バール	フランス	0:58:54
	3位	ニル リウダベッツ ビクトリー	スペイン	0:59:22
PTS 4 【女子】	1位	ケリー エルムリンガー	アメリカ	1:10:52
	2位	マルタ フランセス ゴメス	スペイン	1:12:52
	3位	エルケ ファン エンゲレン	ドイツ	1:14:47
	5位	谷 真海	日本	1:15:03
PTS 5 【男子】	1位	クリス ハマー	アメリカ	0:56:25
	2位	ステファン ダニエル	カナダ	0:56:30
	3位	ロナン コルデイロ	ブラジル	0:56:53
	8位	佐藤 圭一	日本	1:04:17
PTS 5 【女子】	1位	クレア キャッシュモア	イギリス	1:05:44
	2位	カミル フレネット	カナダ	1:06:18
	3位	グラディース ルムシウ	フランス	1:09:41

○視覚障がい選手が出場するクラス（PTVI）

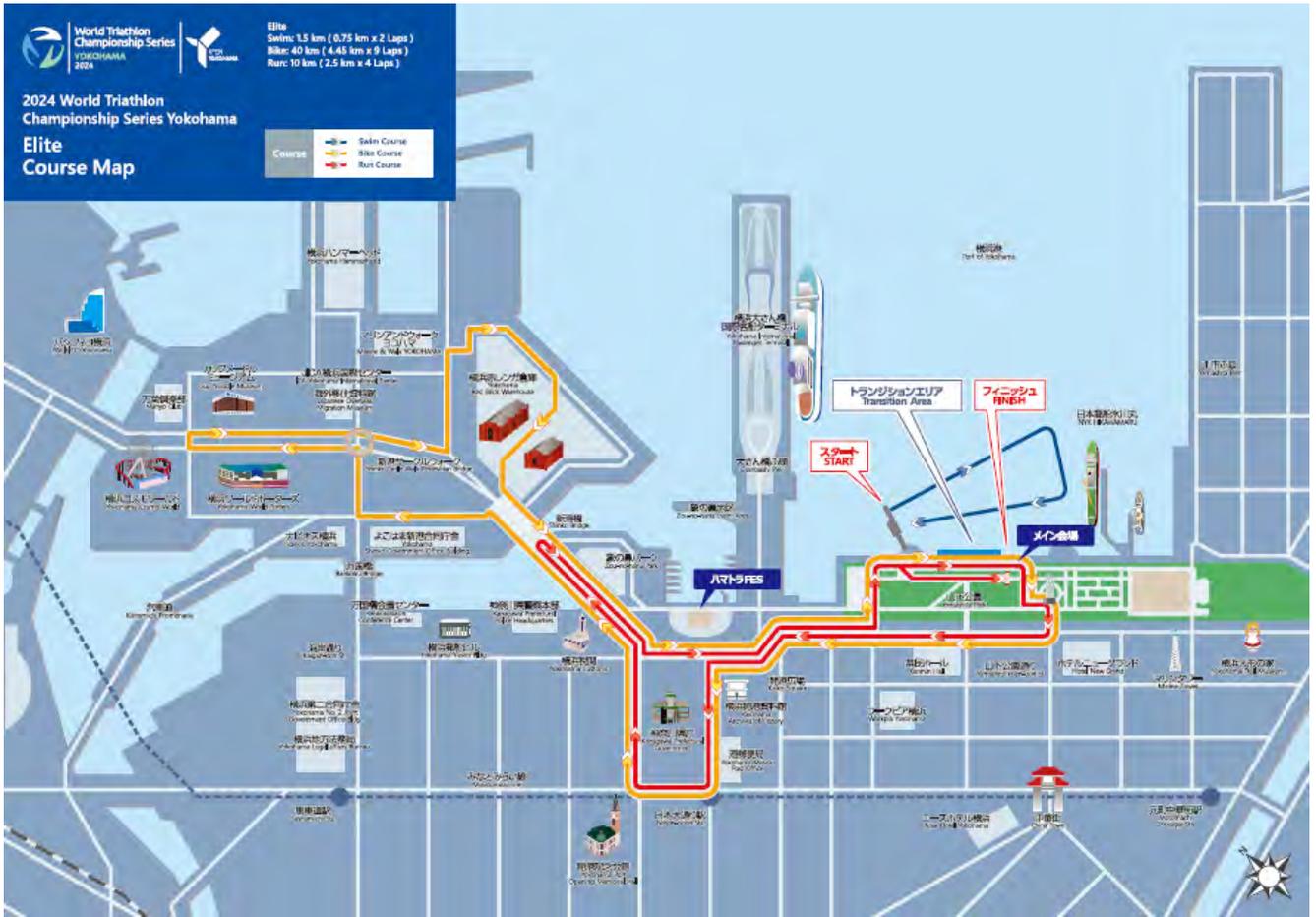
	順位	氏名	国及び地域	タイム
PTVI 【男子】	1位	デイブ エリス	イギリス	0:56:25
	2位	チボー リゴドー	フランス	0:57:22
	3位	オーウェン クレイベンズ	アメリカ	0:57:37
	7位	米岡 聡	日本	0:59:51
PTVI 【女子】	1位	フランチェスカ タランテッロ	イタリア	1:04:30
	2位	スサナ ロドリゲス	スペイン	1:04:34
	3位	クロエ マッコム	アイルランド	1:07:33

■エリート

性別	順位	氏名	国及び地域	タイム
【女子】	1位	レオニー ペリオ	フランス	1:52:28
	2位	テイラー ニブ	アメリカ	1:53:04
	3位	エマ ロンバルディ	フランス	1:53:08
	44位	佐藤 優香	日本	1:58:45
【男子】	1位	モーガン ピアソン	アメリカ	1:42:05
	2位	マシュー ハウザー	オーストラリア	1:42:12
	3位	ルーク ウィリアン	オーストラリア	1:42:20
	7位	ニナー 賢治	日本	1:42:36

コース図

5/11 (土) エリート (トップアスリート) 大会コース



<コース図> 5/12 (日) エイジ (一般参加者) 大会コース

